

2019 年度実施概要

学校名

竹富町立白浜小学校

採択活動名

ふるさと学習～白浜、西表の海を知ろう～

取り組みの概要

1 春の遠足

白浜から目の前にある内離、外離、船浮湾を遊覧し海岸や海の生き物を観察し、網取集落跡の見学を通して、網取集落の生活と海との関わりを学習する。

①集落内の屋敷跡の塀を珊瑚で重ね合わせて作り、台風等から屋敷を守る役目や食べたあとの貝殻の捨て場所などを確認。

②船浮湾は、真珠の稚貝の養殖に適している水質環境で、ウミガメも多く見られた。

2 海の体験学習

毎年、白浜の漁師を講師に船に乗船し、クマダラの浜へ行き、刺し網漁を行う。昨年までは漁師が前もって刺し網を仕掛けておくが今年は、児童に刺し網の仕掛けも体験させたいとの思いから、前もって朝早くに高学年男子と漁師の船に乗り刺し網を仕掛けて戻る。暫くして、全児童・全職員で遊覧船に乗りクマダラの浜へ行き、潮が引くのを待ち、刺し網に掛かった魚やウミガメを捕り、ウミガメは、逃がし、それ以外の魚を捌いて魚汁を作る。全児童に鱗取りから、魚の捌き体験をした。

3 白浜「海神祭」

西表島で唯一の海神祭へ全児童が参加する。学校対抗ハーリーでは、4年生以上の児童が漕ぎ手として参加し地域の伝統行事を盛り上げ、3年生以下の児童は、船を手招きして応援した。祝賀会では櫂を使った踊りを披露した。海神祭を通して、白浜の海の恵みを知り、豊漁祈願を行うことで、白浜地域がにとって海が生活と切っても切り離せないことがうかがえる。

4 マングローブ生態系探検

3年生以上の児童12名が参加。西田川サンガラの滝に向かい、マングローブの生態系探検を行い、マングローブの重要性や必要性及び役割を理解し、西表島の自然を守っていることや多種多様な生き物の住処となっていることなどを学んだ。地球に優しいマングローブの森を守ることは、海を守ることに繋がり、海を守ることは私達人類を守ることに繋がる。この探検を通して、西表島の漂着ゴミ問題が喫緊の課題となった。この問題を自分達の問題としてどう向き合い、どう解決していくのかをこれから考え実践していきたい。

5 白浜の近海でとれた魚を使った調理実習

①講師に漁師夫妻を招き、白浜の近海での漁を通しての苦労や努力したこと、困っていることなどをインタビューし、昔と今の漁獲高の違いや環境の変化など率直に語ってもらい、海の環境を守るために自分達にできることはないか考える機会となった。

②白浜の近海でとれた魚を使った調理実習では、海歩人ならではの、素材を最大限に活かした調理法をいくつか教えてもらった。それぞれの魚の特色に合った調理法を教えてもらい、味付けもシンプルに行い、ムニエルやホイル焼き、魚汁やマース煮等、美味しく頂いた。

活動中の写真

デジタルデータにて2〜3枚の添付をお願いします。

【春の遠足(網取集落跡見学・船浮湾遊覧)】



【海の体験(刺し網漁・魚の捌き)】



【白浜『海神祭』(爬竜船漕ぎ・応援・踊り)】



【西表島の自然マングローブ生態系探検】



【白浜の近海でとれた魚を使った調理実習】



実施単元名 ※実施した単元の数に応じて記載してください

1. ふるさと学習～白浜・西表の海を知ろう～ 春の遠足を通して、白浜近海の海を見よう
2. ふるさと学習～白浜・西表の海を知ろう～ 白浜小学校伝統行事「海の体験学習」
3. ふるさと学習～白浜・西表の海を知ろう～ 白浜地域の伝統行事 『海神祭』
4. ふるさと学習～白浜・西表の海を知ろう～ 社会見学『西表島の自然マングローブ生態系探検』
5. ふるさと学習～白浜・西表の海を知ろう～ 白浜近海でとれた魚を使った調理実習と漁師さんへのインタビュー